

災害公営住宅の名称が「広野原団地」に決定



↑ 来月入居開始予定の広野原団地

今月完成する災害公営住宅の名称が「広野原団地」に決定しました。

応募総数18点から災害公営住宅名称選考委員会が選考したもので、採用された4人の応募者には、記念品が贈呈されます。

広野原団地は、集合住宅38戸、戸建て住宅10戸の計48戸で、来月10月から入居を開始する予定です。

広野中生徒がサマーショートボランティアスクールでボランティア体験



↑ サマーショートボランティアスクールの様子

7月22日（火）から8月4日（月）まで広野町社会福祉協議会主催の第10回サマーショートボランティアスクールが行われました。これは、広野中学校の生徒が夏休みを利用して、保育所、幼稚園、児童館、保健センター、デイサービスセンター、弁当配達および炊き出しのボランティア体験をするものです。

初日の22日は保健センターコースと炊き出し訓練コースとの2班に分かれ、おもちゃ作りの手伝いなどを行いました。

広野中が広野小校舎へ引っ越し



↑ 広野中学校引っ越し作業の様子

広野中学校は、2学期から広野小学校の校舎へ移り、小学生と中学生が同じ校舎で授業を受けています。これは、来年4月開校予定の県立中高一貫校の高等部「ふたば未来学園高等学校」が新校舎建設までの間、広野中学校の校舎を仮校舎として利用するため、新年度に間に合うよう中学校の校舎を改修する必要が生じたことによるものです。

そこで、夏休み期間中の7月28日、29日に、小中学校の教職員、町職員、県教育委員会の職員および東京電力株式会社の従業員が参加して、中学校の備品などを小学校の校舎へ移す引っ越し作業が行われました。

二ツ沼直売所が再開1周年を記念して感謝祭を実施



↑ 二ツ沼直売所1周年感謝祭の様子

町内の二ツ沼総合公園内にある広野町二ツ沼直売所が、7月27日（日）で再開1周年を迎え、当日、1周年感謝祭が行われました。

広野町産の新鮮野菜の産地直売はもちろんのこと、広野復興プロジェクト実行委員会の協力で、大人気・宮崎産マンゴーや広野町復興グッズ「HOPEタオル」の販売も行われました。

↓ 広野町初のイメージキャラクター「ひろぼー」



まちの話題

イメージキャラクター「ひろぼー」誕生

広野町初のイメージキャラクター「ひろぼー」が誕生しました。

応募総数83点からイメージキャラクター選考委員会が選考しました。これからイラストやキャラクターグッズとなって町のPRに活躍する予定です。

みなさん、ぜひ「ひろぼー」をかわいがってください。

7月から歯科診療所が再開しています

東日本大震災後、約3年4か月間、町で歯医者が診療していない状態が続いていましたが、新妻歯科医院が元の診療所を改修して、7月3日（木）から再開しています。院長で歯科医師の新妻 俊尚さんは、既に町外で開業していますので、当面はその診療所の休診日である木曜日だけの診療ですが、環境が整えば診療日を増やす可能性もあります。



↑ 再開した歯科診療所

広野町にインターン研修生がやってきた

広野町にインターン研修生がやってきました。東京大学大学院修士課程に留学中のマチュ・グラッセさんです。期間は8月4日から9月30日までの約2か月間で、復興企画課に席を置いて活動します。

町民との意見交換、広野まちづくり会議への参加、国際シンポジウム取りまとめの海外発信などに協力してもらう予定です。



↑ インターン研修生のマチュ・グラッセさん